



微雨 [長野県木曾郡南木曾町吾妻] 1974年



湖東の家 [滋賀県愛知郡湖東町] 1989年

空模様 と民家

向井潤吉の民家日和

2024

4.2[㊦] — 9.1[㊧]



柿若葉 1950年代

開館時間 | 10:00~18:00(入館は17:30まで) 休館日 | 毎週月曜日(ただし、祝・休日と重なった場合は開館、翌平日休館)、
4月29日(月・祝)、5月6日(月・振休)、7月15日(月・祝)、8月12日(月・振休)は開館、4月30日(火)、5月7日(火)、7月16日(火)、
8月13日(火)は休館 観覧料 | 一般200円(160円)、大高生150円(120円)、65歳以上/中小生100円(80円) *障害者
の方は100円(80円)、ただし小・中・高・大学生の障害者は無料。介助者(当該障害者1名につき1名)は無料。証明書をご提示のうえ、お申し出
ください。 * ()内は20名以上の団体料金 * 世田谷区内在住・在学の小・中学生は土、日、祝・休日、夏休み期間は無料

* []内の地名の表記は、制作時の記録等に基づきます。

世田谷美術館分館
向井潤吉アトリエ館

〒154-0016 東京都世田谷区弦巻2-5-1
TEL.03-5450-9581 <http://www.mukaijunkichi-annex.jp/>



層雲 [青森県北津軽郡市浦村臨元] 1964年



山家雪意 [宮城県刈田郡七ヶ宿町関字横川] 1961年



春塘 [埼玉県川越市郊外] 1984年



山雨来る部落 [富山県黒部市別所] 1973年



草原六月 [北海道厚田郡厚田村聚富村] 1967年



甘藷丘遠望—橋寺境内より [奈良県高市郡明日香村大字橋] 1970年



雨後千曲川 [長野県下水内郡豊田村豊津碓] 1977年



岳麓好日 [長野県北安曇郡白馬村塩島] 1969年

戦後の経済成長のなか、失われゆく草葺屋根の民家の美をもとめ全国各地を旅した洋画家・向井潤吉(1901-1995)。雄大な山河や民家のある情景を描いた向井の絵の上方には、いつも「空」がひろがっています。雲ひとつない青空や雨や雪が今にも降り出しそうな曇天、雨が上って雲間から差し込む光や霧のたちこめる幽玄な様子など、さまざまな天候のもとでの自然や民家が描かれており、その空模様は絵の印象を決定する重要な要素となっています。

画家はたまたまそのような空模様の日にその地を訪れたのか、はたまた何日か滞在しているいろいろな天候に遭遇したなかで、あえてその天気の色を選びだして描いたのか、想像が膨らみます。あるいは、現地で実際に体験した天候を描いたのはなく、自身の心情を投影したり絵画的な面白さを追求した「空想の空」なのかもしれません。

本展では、雄大な自然や民家の頭上にひろがり様々な表情を見せる空の様子に注目し、その描き方が特徴的な作品をご紹介します。風景のなかの太陽の日射しや雲の流れ、風や湿度といった大気の変化を想像しながらお楽しみください。

世田谷美術館分館 向井潤吉アトリエ館

〒154-0016 東京都世田谷区弦巻2-5-1
TEL.03-5450-9581
<http://www.mukaijunkichi-annex.jp/>

- [交通案内]
- ◎東急田園都市線「駒沢大学」駅西口 徒歩10分
- ◎東急世田谷線「松陰神社前」駅 徒歩17分
- ◎東急バス(渋05)渋谷駅～弦巻営業所「駒沢中学校」下車徒歩3分



Instagram
日々更新しています!

画家の暮らしの息遣いを今に伝える館内や、四季折々に豊かな表情を見せる庭など、向井館の日常の様子をご紹介しますほか、ミュージアムグッズなどの情報もお届けしています。



撮影:上野利宏



世田谷美術館分館 清川泰次記念ギャラリー

〒157-0066 東京都世田谷区成城2-22-17
TEL.03-3415-1202
<http://www.kiyokawataiji-annex.jp/>

1950年代の写真—アメリカ、ヨーロッパ、アジアの街
4月2日(火)～9月1日(日)



©宮本和範

世田谷美術館分館 宮本三郎記念美術館

〒158-0083 東京都世田谷区奥沢5-38-13
TEL.03-5483-3836
<http://www.miyamotosaburo-annex.jp/>

Colorful—宮本三郎 彩られた世界
4月2日(火)～9月1日(日)



©宮本和範

世田谷美術館

〒157-0075 東京都世田谷区砧公園1-2
TEL.03-3415-6011(代表)
<https://www.setagayamuseum.or.jp/>

[展覧会のご案内]
TEL.050-5541-8600(ハローダイヤル)

同時開催展

企画展

ミュージアム
コレクション

美術家たちの沿線物語 小田急線篇
民藝 MINGEI—美は暮らしのなかにある
生誕130年 没後60年を越えて 須田国太郎の芸術—三つのまごし

ミュージアムコレクションⅢ
美術家たちの沿線物語 京王線・井の頭線篇
ミュージアムコレクションⅠ
アートディレクターの仕事—大貫卓也と花森安治

2月17日(土)～4月7日(日)
4月24日(水)～6月30日(日)
7月13日(土)～9月8日(日)

2023年12月2日(土)～4月7日(日)
7月20日(土)～10月14日(月+祝)

※ご入館に際しては感染症予防のため手指消毒にご協力ください。館内で十分な距離を保てない場合がありますので、マスクの着用を推奨しております。
※展覧会の会期および内容が、急遽変更や中止になる場合もございます。会期中の最新情報は美術館ウェブサイト等でお知らせいたします。